

経済学部・着任の挨拶

森棟公夫

教授

26年間在職した経済研究所より2001年10月に異動しました。授業は学部大学院とも計量経済学。1946年に東京で生まれましたが、育ちは香川県高松市です。

経済学研究科は会議が多くて研究時間がとれないという噂を異動前に聞いていましたが、異動してみるとそれほどではないと思っています。異動前から国際交流委員会の委員長をしていたため勉強時間は制約されていました。また、静かで快適な研究室に籠もって勉強を始めればこちらの方が上です。(研究所は応援団と軽音楽部に近いため、毎日5時以後、週末は一日中うるさいのです。)研究所は秘書がいたもので雑用はしたことはありませんでした。しかし、コピー取りやファックスには慣れました。コーヒーも自分で入れます。

教育に関しては昔から学部授業をしていましたし、ゼミも持っていましたから変化なしです。少し違うのは、会議で先生たちが意見を言おうとする雰囲気ですね。直接民主制では当然ですが、会議時間が長くなります。権限を持った小委員会制度を機能させる時期が近いようです。異動の理由の一つに新研究棟の完成がありました。新研究棟はなかなかいいと思っていますが、早くもスペース不足が起きていることには驚いています。一階のスペースが学生の勉強および交流のために非常に有効に機能していますが、あのスペースにエアコンが必要ですね。何とかありませんか。